



いよいよ2019年が始まりました。元号が5月に平成から新しく変わります（正月現在まだ元号名は発表されていません）。ともかく今年が平成の最後の年になります。海外にいる私たちは、日常のほとんどが西暦で成り立っていますので日本の元号に疎くなっています。と言いましても日本から来る正式書類は元号の年を入れるよう求められますので、本学園特製のカレンダーで児童園児の生年月日も平成何年なのかを確かめています。しかし現代のこの世の中で独自の年号を持つユニークな伝統ある国に生まれたということを大いに誇りに思います。

維新以来150年間、明治、大正、昭和、平成と日本は激動の時代でしたが次の元号ではどんな時代になるのでしょうか。ともかく平和な戦いのない時代を願うばかりです。まず来年、世紀の祭典「東京オリンピック」があります。不安要因であります地震や津波、火山の爆発など心配は尽きませんが無事に終ることを祈るのみです。私の中学生の時の卒業アルバムの表紙の裏が東京オリンピックの開会式、入場行進の写真でした。これからもう半世紀以上経ったと思うと感慨深いものがあります。

昔は「明治は遠くなりにけり・・・。」と言っていましたが、その内「平成は遠くなりにけり・・・。」という時代が来るのでしょうか。

今世界は大国主義の風潮がまかり通っています。私たちの子ども達が、大人になる時代にはどんな世の中になっているのでしょうか。次の時代、そして次の次の時代にはどんなリーダーが各国から出ているか、楽しみであり不安もあります。世界約200の国々が、混沌とした世の中で、どの国に救いを求めるのでしょうか。ヨーロッパの国々にも問題が多く余力はありません。理性があり、パワーも技術もある国。人徳があり、人気のある国といえば・・・日本が最有力候補だと思います。その為には大国にも言うべきことを言えて、説得し動かせる国にならねばなりません。

新しい元号。新しい日本。新しい日本人。

せん。世界の人々から信頼される国、尊敬される国。日本はそんな国になることのできる、可能性のある国です。ここまで来たら国際社会において自立した国、成熟した国、にならなければなりません。自信の無いリーダーに人々はついてきてはくれません。特にこれからの時代では「宇宙での外交」や「生命科学」といった倫理上の問題がテーマになってくることでしょう。その時に対応できる論理的思考力を持ったリーダーが必要になってきます。他人の意見をよく聞き、自らの考えを説明しながら全体の意見をまとめることができる国にならなければなりません。「新しい日本」になる必要があるのです。

当地 NY・NJ 地区に住む、全日制日本人学校にいる子ども達、アメリカの現地校とサタデースクール、サンデースクール、アフタースクールや補習校等で学ぶ園児・児童・生徒達が表舞台に登場する時代が来ます。この若者達は物心がつくつかない時より多文化そして多言語の中にどっぷりとつかって生き抜いてきた訳です。広い視野、適応力、自己表現力などグローバルな能力と言語力を兼ね備えた人材の育成が私共に求められているのではないでしょうか。いわゆる「海外子女」と呼ばれている子ども達こそが、日本の宝、世界の宝と思われます。多くの人種の間で苦労はしていても、理解のある両親の元、海外でのびのびと育った子ども達。東洋文化と西洋文化の間に育つ彼らこそが新しい世紀を担っていくグローバル時代の立役者になるのではないか。これまでの日本人とは異なる「新しいタイプの日本人」、コスモポリタンの登場です。

私共の NY 育英学園に限らず、高度な日本語能力と外国語能力を持ち、複数の文化と社会を理解し日本と世界の懸け橋になる人材の育成に取り組む海外の教育機関には國も企業ももっと支援すべきではないかと声を大にして主張します。



1979年にマンハッタンの片隅で創立されましたこの Japanese Children's Society は、今年40周年を迎えます。これからも全日制日本人学校ニューヨーク育英学園の幼稚部小学部をよりパワフルに運営して参ります。マンハッタンの「フレンズアカデミー」、フォートリーの「りんごラーニングセンター」そして育英サタデースクール（NJ校、M校、PW校）、育英サンデースクール、アフタースクールとともに皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

ニーヨーク育英学園学園長
岡本敏



(トーテムポール デザイン)
 2018年度サタデースクール NJ 校小学部
 第3学年 鈴木 健斗

~今号の目次~

- P.1 学園長よりご挨拶
- P.2 NJ キャンパス全日制部門からのお知らせ
- P.3 NJ キャンパス全日制英語科からのお知らせ
- P.4 育英アフタースクールからお知らせ
- P.5 育英サンデースクール NJ 校からのお知らせ
- P.6-7 JCS のご案内
 2018 年度 NY 育英学園全部門追加募集について
- P.8-9 サマー 2019 のお知らせ
- P.10 NY 育英学園クラブ書写合同コンクール報告
- P.11 シリーズ「保育教育トピックス」⑧
 シリーズ「NY 育英学園職員ベンリレー」
- P.12 NY 育英学園ファンドレイジング報告
 シリーズ「先輩から一言」
 4 コマ漫画 (作: ヨマタキレコ)

プレゼンテーション能力の育成 ~NJキャンパス全日制部門~

小学校では2020年度、中学校では2021年度から全面実施される次期学習指導要領では、学習内容が資質・能力の3つの柱によって構造的に示されます。3つの柱とは、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」です。

現状、子どもの学力に目を向けると、国際学力調査で日本は上位に位置しています。文部科学省「全国学力・学習状況調査」では、学力の底上げが見られる一方で、記述式問題では依然として無解答が多く、学んだ知識を活用する力、自分の考えを表現し、伝える力には課題が残っています。

「思考力、判断力、表現力」や「学びに向かう力、人間性」は、教え込んで身に付くものではありません。自分自身で主体的に学習にのぞみ、その中で深く考えるような学習を通して身に付けていくものです。アクティブ・ラーニングによって、主体的・対話的で深い学びを生み出すことを目指すのが、21世紀を生きる子ども達への教育の姿です。

伝える力を磨く

習得した知識をもとに、思考しながら課題内容をまとめ、他者に分かりやすく伝える力がプレゼンテーション能力です。そこには、学力の総合的な要素と全学年を通した指導が必要となります。そこで、幼小一貫校である本学園では、幼稚部から小学部にかけて、日常的かつ段階的にプレゼンテーション能力を育んでいます。必要なことを自分で考えて調べたり、自分の考えを分かりやすく発表したり、友達の意見を傾聴したり、英語で発表したりする機会を多く設けています。その過程で、子ども達は、取材力や発表力、傾聴力、英語力などを身につけ、発揮しています。

実践1

INPUTとOUTPUT

『朝の会でのスピーチ』

幼稚部年少組から小学部6年生までの全学年で、発達段階に応じた配慮をしながら実施しています。プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上には、自分の知らせたいことや見せたい物を見つけたり、何かに興味関心を持ったりすることが大切です。

友達と生活をする上で「伝える」ということはとても大切なスキルです。朝の会などで短いスピーチを行うことは、限られた時間内に要点をまとめ、分かりやすく伝える力を養うとともに、人前で話すトレーニングにもなります。また、スピーチのネタを探すために自分の身の回りの物や家族、新聞やニュースの内容等さまざまなことに関心を持つようになります。

スピーチでは、友達に分かりやすい話し方、起承転結を意識した話の構成をその都度指導しています。また、聞き手と問答することで、友達同士が関心を寄せ、真の理解につ

ながるinput(聞く)とoutput(話す)を大切にして、プレゼンテーションの学習につながるように心掛けています。

『ICT機器の活用』

限られた授業時間内にクラス全員がアウトプットする機会を設けるために、ICT機器は最適だと考えます。全教室でiPadを使用できるほか、小学部では全教室にスマートボードが設置され、プレゼンテーションの有効な手段として活用されています。一方で、ICT機器だけに頼らず、子ども同士が顔を向き合わせてコミュニケーションする場面も、伝える力を身につけていくにはとても大切です。活動の目的に応じてそれらを使い分け、より効果的な活用を日々研究しています。

実践2

自己表現

『学園祭』

幼稚部と小学部の全学年が各30分弱の発表をします。子ども達一人ひとりが活躍できるように担任が台本を作り、練習を重ね、人前で発表することで自己表現力を向上させます。学園祭に向けた取り組みには、多くの時間を費やし、他の活動や授業との関連性をもたせた横断的な取り組みとして成果を上げています。これらは、学園祭に向けた取り組みで養われるだけでなく、すべての教育活動によって養われたものが体现され、子ども自身が伝えることの大切さを実感していく重要な行事として位置付けられています。

実践3

思い、考えを伝える

『自由研究発表会』

小学部では、夏休み中にジャンルを問わず、一つのテーマを決めて調査研究をする自由研究を課題としています。2学期始めには、その研究結果を全体の前で発表する機会を設けています。1年生では、発表会への準備として次の3つのステップで発表内容をまとめています。

- ①マインドマップの活用
- ②伝えたい言葉の抜き出し
- ③発表原稿への文章化



小学部全体において、クラスや大勢の前で発表する機会が多くの行事で設定されています。特に低学年では、発表の基礎を身につけていくように、発表をする前に、発表内容や順序、正しい言葉遣い等を指導し、準備をします。幼稚部で培った伝える力を更に向上させられるように、小学部に移行してきた最初の段階である1年生では、上記の3つのステップを通して、事前に子ども自身が伝えたい思いや考えをまとめ、練習をします。発表内容がまとまることで、自信をもって発表にのぞむことができるようになります。

『絵日記・新聞作り』

幼稚部では、行事等の後に思い出を絵に表します。小学部になると、絵日記、そして新聞作りと発展していきます。小学部では、校外学習や社会科などでの調べ学習の中で、学習したことをまとめて新聞作りを行っています。3年生、5年生国語科では、資料をもとに聞き手の視覚に訴えるプレゼンテーションを学びます。学習のまとめと深化のために、廊下に絵日記や新聞を掲示したり、全員の前で発表したりすることで、友達への発信も行います。見ている側が分かりやすい構成やレイアウト、内容を考えて工夫していくことになります。その際、大切にしているのは、描き方や書き方の間違いを探す勉強にならないことです。「伝えたい」という気持ちを大切に育んでいくことで、プレゼンテーション能力の基礎を固めていくことになります。

また、発表は、作った人が全員の前で発表します。みんなはそれを聞き、質問や感想を言います。「話す、聞く、読む、書く」のすべての言語活動が網羅されることになり、これらの活動を通して、言語活動の充実を図ることができます。



『児童会活動』

小学部では児童会を組織し、学園生活の充実のために、委員会活動やバザーでの出店など子どもの自主的な活動を行っています。子ども達は、みんなに楽しんでもらおうと休み時間にサッカー大会やオセロ大会、読書の啓発イベントなどを企画し、多くの参加を得ようと、広報の方法を工夫します。自主的な活動を行い、自分たちで成功させたという成就感を味わうことで、プレゼンテーション能力が定着し、次への工夫が生まれ、更なる能力向上へつながっています。

また、12月には、毎年児童会役員選挙が行われています。立候補者は、選挙活動期間には、ポスター掲示に始まり、下級生の教室を回って、こんな学園にしたいという自分の思いを話します。そして、3年生以上の全員が参加し、各候補の立会演説会と投票が行われます。演説会では、一人ひとりの候補が学園に対する自分の熱い思いを訴えます。幼小一貫校でのプレゼンテーション能力育成の総まとめとも言える行事です。



本学園では、ICTを授業改善のために活用していますが、より大切にしているのは実体験です。実際の体験を記録し、それをもとに考え、自分なりにまとめ、発表することを大切にしています。発表する際にも、聞いている人がいることを考えながら、分かりやすい発表を心掛けるように指導しています。本来、子どもは、発表し、他者に認めてもらえることが大好きです。今後も子ども達が堂々と自信を持ってプレゼンテーションできるような環境作りに努めています。

NJキャンパス全日制の英語教育の魅力

「英語は話せて当たり前」の時代へ

英語が国際共通語と言われるようになって久しい今日、世界約80カ国・地域で約3億3500万人の人々が英語を母国語として話し、更に第二言語として英語を話す人を含めると18億人以上の人々が英語を話すと言われています。また、現在インターネット上の情報量の8割以上が英語によるものと言われ、インターネットの普及と共に、国際共通語としての英語の地位は揺るぎないものとなりました。各国が第二言語として英語教育に力を入れる中、今や先進国だけでなく、発展途上国でも「英語は話せて当たり前」の世の中になりました。(参考: Wikipedia)

そんな中、スイスに本部のある国際語学教育機関が2018年11月に公表した、英語が非母語である88カ国・地域を対象に調べた「英語能力指数」において、日本は残念ながら年々順位を下げ、2018年は49位となり、英語能力5段階評価も3年連続で下から2番目の「低い」レベルと認定されました。

日本では、文部科学省の指導により、2011年度より小学校第5・6学年で年間35単位時間の「外国語活動」が必修化されたほか、中・高等学校における英語教育も改革が進んでいます。2020年度からは、ついに英語が小学生の必修教科になります。現在、日本における英語教育熱はこれまでにない勢いで急上昇しつつあり、今後英語を使える若者が急増することが期待されています。

日本よりも一歩進んだ英語教育を

NY育英学園全日制では、アメリカ当地にあるという地利を生かし、小学部を開設した1986年当初より毎日の英語を取り入れ、独自の日英バイリンガル教育を推進してまいりました。2011年度からは、金曜日は現地校のように丸一日英語のみで学習するカリキュラムを取り入れ、日本よりもさらに一歩進んだ英語教育を行っています。

日本では週や月に数回の英語の時間を取り入れる幼稚園が増えました。NY育英学園全日制幼稚部では、長年学年に応じ段階的に英語の時間を増やし、週に2,3回の英語あそびの時間を取り入れてまいりましたが、2017年度からは、毎日英語の時間を取り入れ、大きな成果を上げつつあります。



英語での発信力がカギ

日本では、子ども達の英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）がバランス良く育成されているかを測るテストおよびアンケート調査が毎年行われていますが、大きな課題と言わわれているのが、英語で話す力と書く力です。さらに、授業中の「話す」「書く」言語活動が十分でない背景には、教員の英語力・指導力の問題も指摘されています。

幼小一貫の全日制日本人学校であるNY育英学園では、幼稚部・小学部共にネイティブ英語講師と毎日英語でコミュニケーションできる環境を整え、子ども達が積極的に英語で発信する力を養っています。

小学部では、月曜から木曜は毎日学年・レベル別の少人数クラス(4~10名程度)で一人ひとりが英語で話す機会が十分取れるようにしています。また金曜日は、10~20人の学年を考慮したレベル別クラスで、現地校のように、朝の会や帰りの会も含め、丸一日6コマを英語で学習しますので、英語の4技能をバランスよくブラッシュアップする時間がたっぷりあります。さらに、各自調べたことなどを皆の前に発表したりする時間を設け、英語でのプレゼンテーションの能力を培えるよう指導しています。



学園祭での全学年による英語劇の発表

幼稚期は「書く」ことよりも、「英会話ができるようになる」ことを目標にしますが、家庭でDVDやテレビ、オンライン教材も含め、ビデオによる視聴覚教材を見て聴いているだけでは、英会話ができるようにはなりません。言語は「コミュニケーションツール」ですので、やはり対面での人とコミュニケーションが大切になります。

NY育英学園幼稚部では、毎日ネイティブ英語講師との英語の時間があり、身の回りのものの言葉や日常生活で使う表現を耳で先生の発音を聞いてリピートするといった「聞く」「話す」活動を中心に学んでいます。またクラスの他に、ランチや自由遊びの時間に1対1でネイティブの英語の先生と会話ができるチャンスがあり、子ども達は、毎日たくさん英語のシャワーを浴びることで、英語でコミュニケーションすることが当たり前のようにならうとしています。

お問い合わせ/NJキャンパス全日制幼稚部英語科コーディネーター：中川 晴美

NY育英学園全日制部門のバイリンガル教育

英語アレルギーにさせない

文部科学省が2015年に高校3年生を対象に行ったアンケート調査では、「英語が好きではない」との回答が半数を上回るなど、英語力が伸びない原因として、学習意欲が大きな課題と言われています。(参考: 文部科学省「生徒の英語力向上推進プラン」)こうした英語アレルギーになってしまふ確率は、年齢が下がるほど減る傾向があります。ただ、早期の英語教育が大切だからといって、子どもの意思に反した環境に置いたり、子どもに過度なプレッシャーや負担を与えると、やはり英語嫌いになってしまうこともあります。

NY育英学園小学部では、英語を初めて学ぶ子ども達には、日本人バイリンガル講師が、適度に日本語での解説を加えながら指導しますので、負担なく英語の基礎を覚えていくことができます。またアッセンブリなどで、いろいろなネイティブ英語講師の英語に触れる機会がふんだんにあるので、講師の話が完全には分からなくても、ジェスチャーや知っている単語を拾い繋ぎながら言っていることを推測する力も養うことができます。

また、ある程度語彙が身につき、英語での指示が分かるようになると、日本語が分かるネイティブ英語講師のクラスにレベルアップすることができます。NY育英学園のネイティブ英語講師の中には日本語もある程度分かる講師が多いので、言いたいことを英語でどういえばいいのか、すぐに教えてもらうことができ、英語に対するポジティブな姿勢を育むことができます。

さらに、どんどん英語力を伸ばしたい子には、年に2回行う進級テストで上のレベルのクラスにチャレンジできるほか、アフタースクールのE S Lや英検®対策のクラスなどをとることもでき、全日制に通いながら英検2級程度まで合格する子どもたちが後を絶ちません。現地校に通う中・高校生でも難しい準1級に合格する小学高学年の子ども達もいるほどです。

まずは、英語好きになってもらう。好きになつて自信がついたら現地校にチャレンジしてもいいし、大好きなNY育英学園で日本語を勉強しながら、英語力もさらに伸ばしていく。それがNY育英学園全日制の英語教育の最大の魅力と言つていいでしょう。



NJキャンパス アフタースクール

平日アフタースクール NJ 校 ～週末は家族団らん、平日夕方に日本語学習～



ニューヨーク育英学園アフタースクール NJ ニュージャージ校では平日現地校終了後に通う幼稚部の「つばめ組」、小学部の「国語・算数教室」があります。このプログラムは、日本の幼稚園で行う製作物の作成や季節の行事、文部科学省の学習指導要領準拠の指導にて日本語力の基礎を培います。

現地校に通う子どもがいるご家庭では、子どもの日本語力の保持、伸長に日夜努力をされていることでしょう。しかし、家庭の中だけでの日本語力の育成は難しいものです。なぜなら、子ども達の言語能力の育成には、継続した意図的、計画的な指導が大切だからです。

日本語の基礎を作る時期を逃すことなくニューヨーク育英アフタースクールプログラムで大切な言語力の基礎を築いていきましょう。



サンデー&アフター合同大運動会

皆様の声にお応えして
現地校が終わった後に、より余裕を持って登園してただけるように、開始時間を従来より15分遅くして2019年度は開始します。ぜひこの機会にご入園ください。

アフターNJ 幼児部つばめ組

子どもを現地校に通わせながら、「日本語をもっと学ばせたい」「日本語での活動や学習の場を深めさせたい」という要望をお持ちの方や、「幼児期だからこそ大切な日本語を学ばせたい」、「母国語である日本語を大切にしてていきたい」とお考えの方も多いのではないでしょうか。



そんな声にお応えしてNY育英学園ではアフタースクールプログラムとして平日の午後に「幼児の教室」を開設いたしました。最初はお互いを知らない園児も、音楽や工作、時には運動を通してすぐに仲良くなります。



対象：3歳～5歳の幼児 日本式学年
入園資格：年齢相応の発達段階にあり、日本語による指示が理解できる。

内容：日本語による遊び、製作活動、紙芝居、絵本の読み聞かせや日本のお歌などを縦割りクラスの保育を行います。

クラス：①火曜 ②木曜 ③金曜

日々の流れ※2019年4月から

時間	内容
3:30～3:45	登園(ドライブスルー)
3:45～4:00	お絵かき、カルタ等自由な遊び、裏庭遊び
4:00～5:20	リズム体操、絵本の読み聞かせ絵画制作 音楽リズム、ゲーム等の活動
5:20～5:30	おやつの時間
5:30～5:45	ことば遊び、歌、紙芝居の読み聞かせ
5:45～5:55	降園(ドライブスルー)

アフターNJ 小学部 1～6年生



NY育英アフタースクール「小学生の国語・算数教室」は、現地校に通うお子様を持ち、日本語での学習を続けさせたい、週末は家族でゆっくり過ごしたいと思われている方々にぴったりのプログラム。楽しく学び、そしてしっかりと学習の基礎を身につけていきます。授業は現地校が終わってからでも通える時間帯ですし、教科書や副教材を使いながら、ひとつひとつの学習事項をしっかりとおさえています。また、大勢のクラスでは発言発表の機会も少なくなりがちですが、このクラスは定員12名の少人数制なので、一人ひとりの発言発表を重視した授業が進められます。さらに、日本の学校行事には欠かせない運動会も育英サンデースクールと合同で行っています。

対象：小学1年生～6年生 日本式学年

※2019年4月からの対象年齢となります。

入学資格：年齢相応の日本語力があり、一斉授業の中で学習できること。

入学にあたり、試験(国語・算数)をさせていただきます。

内容：国語の授業を中心算数を加えた2科

定員：各学年 12名(3名以上で開講)

授業数：各学年 年間39回

スケジュール

火:2・5年生 木:1・4年生 金:3・6年生

時間帯	内容
登校	3:50 - 4:00 ドライブスルー
1・2時間目	4:00 - 5:30 国語(漢字、文法・読解)
休憩	5:30 - スナックタイム
3時間目	5:40 - 6:20 国語(作文、発表を中心)
4時間目	6:20 - 7:05 算数
下校	7:05 - 7:15 ドライブスルー

お問い合わせ先 アフタースクール部門事務局

場所：8 West Bayview Avenue,
Englewood Cliffs, NJ 07632

電話：(201)947-4832

E-mail：AfterNJ.nyikuei@gmail.com

学びの質が成功への鍵 ~育英サンデースクールNJ校~

サンデースクールは、本学園のプランチの1つとして2008年4月より開校しました。2018年4月で創立10周年目を迎えました。開校当初は少人数からのスタートでしたが、現在は幼稚部年中から小学部6年生まで開設され、全在籍数が約80名となっています。文部科学省が定める幼稚園教育要領、小学校学習指導要領をもとに保育・教育活動を実施しており、年間を通して季節の行事、日本文化や日本語を大切にする心を育んでいます。また、非常にアットホームな雰囲気中、家庭と学園とが密に連携して運営されています。



日曜日の午後に勉強

サンデースクールの一番の特徴は、日曜日の午後からの保育・授業という点です。土曜日を家族と過ごし、日曜日の午前中には地域のクラブ活動や行事などに参加して、昼食後の午後からは比較的ゆったりとしたペースで日本語で学ぶことや日本語指導による習い事を一日にまとめて参加することができます。

<週末の過ごし方の例>

【土曜日】家族とゆっくりと過ごす

【日曜日】

午前：地域のクラブ活動

サンデースクールの準備

午後：サンデースクール

13:00～17:00

学習の質にこだわる

幼稚部

*対象：年中、年長（日本式学年暦）

*保育：

クッキング、運動、歌あそびやアートなどを取り入れ、日本語による保育を行っています。



*NJキャンパスの遊具や砂場、グラウンドで元気いっぱいに体を動かして、心身ともに健やかな成長を促します。

小学部

*対象：1年～6年（日本式学年暦）

*教科：国語・算数（毎週各2時間）、生活（1・2年生）、理科・社会（3年生以上）、音楽・体育（年3回）

*国語・算数・理科・社会は、一日授業を行うサタデースクールと同じ時間数を確保しており、学習の質を大切にしています。少人数の中、経験豊富な教師が子ども達一人ひとりを温かく見守り、きめ細やかな指導を心掛けています。



お問い合わせ／サンデーNJ校ディレクター：大村功

体験的な季節の行事

サンデースクールで行う日本の季節の行事の中で子どもたちに大人気の行事は「もちつき大会」。蒸したもち米を臼にあけて、杵を使ってついていきます。「よいしょ！よいしょ！」と元気の良い掛け声とともに、もち米が粘りを増し、美味しそうなお餅がつき上がります。きな粉、砂糖醤油、小豆餡で味付けをして、子ども達はキラキラと輝く笑顔でお餅を頬張ります。



アメリカで暮らしながらも、日本の文化を経験し、日本の四季折々の行事を楽しみながら、日本語での学習を行っています。日本語力は学習だけでなく、行事などの体験を通して定着・向上します。もちつき大会の他にも、運動会、書き初め大会、節分、ひな祭りなど、様々な行事をたくさん経験しながら、子ども達は日本語で楽しく学習しています。

充実したアフター活動

サンデースクールの前後となる午前や放課後には、日本語による様々な教室が開催されています。これらの全てのアフター活動は、サンデースクール在籍者以外も参加が可能となっています。

【午前】

*自習室プラス

対象は小学生。宿題から家庭学習まで、個別にサポートを受けることができます。全日制児童の利用もあります。



*日曜音楽教室（ピアノ、バイオリン）

対象は4歳から中3まで。初心者から上級者まで、専門の講師が個別レッスンを行います。年に1回の学園全体の発表会にも参加して、練習の成果を発表します。

*ピアノ教室：グランドピアノを使用します。使用教材は、各個人にあった教材を選定します。American Protege Competition受賞者も所属しています。音楽に親しむところから始まり、毎週のレッスンと日頃の練習を通して本格的な技術を身につけています。

*バイオリン教室：スケールやエチュードの練習をウォーミングアップに課題曲を練習したり、講師が違うメロディーと一緒に弾いたり、ハーモニーを楽しんだりします。



*日曜寺子屋アカデミー

（書道〔毛筆・硬筆〕、そろばん、理科実験、アート、料理）

「読み・書き・そろばん」に、理科実験やアート、料理などの普段体験できないような活動を加えて、幅広い知識や技術を習得できる『現代版寺子屋』とも言うべきユニークなプログラムです。

*書道教室：筆達認定試験や週刊ニューヨーク生活硬筆コンクールに毎回応募しており、

昨年度は、この教室で初めて書道を習った子が、育英学園主催のクラブ書写コンクール学園長賞を受賞しました。指導は少人数の良さを生かして個別のレベルに合わせて行い、異学年同士が教え合いながら学びます。

・料理教室：肉のアスパラ巻きやポテトサラダなど、お弁当にぴったりの簡単なおかずから、パエリア、ライスバーガーなど、大人でも参考にしたい本格的な料理も体験します。料理後は昼食にみんなで作った料理を美味しく頂きます。



・そろばん教室：数に親しむところから始まり、少人数の良さを生かして個々のレベルに合わせた指導を行っています。



・理科実験：紫キャベツと酢で作った液体に重曹を加えるとまるで海の底で火山が噴火しているような反応が見られる「中和の実験」など、わくわくするような実験を行います。実際に自然現象を体験することにより、楽しみながら科学的な見方や考え方の育成を図ります。

・アート教室：フラワーアレンジメントや、画用紙を使った本物そっくりのサボテンアート、毛糸を使って指で編む手作りマフラーなど、身近な材料を上手に活用し、創造的な作品を作ります。

*日曜野球教室（※親子での参加が可能）

春期と秋期に開催されます。小学生以上の初心者から上級者までの様々なレベルに応じた指導を行っています。また、毎回の練習の最後には独自のルールで試合を行い、だれでも楽しめるようになっています。

秋には『育英オールスター GAME』が開催され、日曜野球教室だけでなく、全自制野球クラブ、サタデースクール野球クラブ、サマーワーク教室、さらにはハーフタイムショーとしてダンスクラブも参加し、例年観客を含めて100名以上の規模の賑やかな試合となります。



【放課後】

*日曜ダブルダッチクラブ

ダブルダッチとは、2本の縄の中で飛ぶ縄跳びです。毎週サンデースクールの放課後時間になると、体育室からはアップテンポの音楽と練習の掛け声が響き渡ります。縄の回し方などの基礎的な技術からアクロバットまで、運動能力向上のための指導を中心に行なっています。

見学・編入は随時受付中

お問い合わせ先

場所：8 West Bayview Avenue,

Englewood Cliffs, NJ 07632

電話：(201)947-4832

E-mail : SunNJ.nyikuei@gmail.com



JAPANESE CHILDREN'S SOCIETY のご案内



New Jersey キャンパス (イングルウッド・クリフス)

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632
Phone: (201)947-4832 Fax: (201)944-3680
E-mail: Info.nyikuei@gmail.com

全日制ディスクール 幼児部／小学部

E-mail: DaySchool.nyikuei@gmail.com

幼小一貫全日制教育

日本の文部科学省のカリキュラム準拠+ESL&現地校英語

(幼児部) NY 育英ブリクロスマソッド

毎日の英語の時間+金曜日のバイリンガルの時間(年長・年中)
英語でのアートの時間

(小学部) NY 育英クロスマソッド

毎日1時間の英語+金曜日1日英語=週10コマの英語
1週間の1/3が英語学習
充実の7段階の習熟度別の英語クラス編成
ネイティブレベルは現地校のランゲージアーツの教科書を使用

■幼児部

年少組、年中組、年長組、
ゆり組(ウェイティング特設クラス)

■小学部 小学1年～小学6年

■様々な放課後クラブ活動

(幼・小) サッカークラブ、水泳クラブ、
ダブルダッチクラブ、ダンスクラブ、体操クラブ
(幼児部のみ) ボール遊び、ベビーシッター
(小学部のみ) 野球クラブ、ボードゲームクラブ、自習室

アフタースクール E-mail: AfterNJ.nyikuei@gmail.com

幼児の教室(つばめクラス)

小学生の国語・算数教室
ESL(年少～小学6年)
ピアノ教室 空手教室 合唱部
書道教室 ダブルダッチ(チーム)
幼児おんがく教室(年少～年長)
いろはにほんご教室

→E-mail: IROHA.nyikuei@gmail.com

日曜プログラム



New Jersey キャンパス (イングルウッド・クリフス)

マンハッタンからバスをご利用の場合
★Port Authority Bus Terminal から
NJ Transit → 156番
Coach USA → 9 T A番
★George Washington Bridge Bus Terminal から
NJ Transit → 186番
Coach USA → 9A番
詳細は学園ホームページをご覧ください。

幼稚部 年中、年長

毎日の英語の時間+金曜日のバイリンガルの時間(年長・年中)
英語でのアートの時間

小学部 年中、年長

毎日1時間の英語+金曜日1日英語=週10コマの英語

1週間の1/3が英語学習

充実の7段階の習熟度別の英語クラス編成
ネイティブレベルは現地校のランゲージアーツの教科書を使用

■幼稚部

年少組、年中組、年長組、
ゆり組(ウェイティング特設クラス)

■小学部 小学1年～小学6年

■様々な放課後クラブ活動

(幼・小) サッカークラブ、水泳クラブ、
ダブルダッチクラブ、ダンスクラブ、体操クラブ
(幼児部のみ) ボール遊び、ベビーシッター
(小学部のみ) 野球クラブ、ボードゲームクラブ、自習室

アフタースクール E-mail: AfterNJ.nyikuei@gmail.com

幼児の教室(つばめクラス)

小学生の国語・算数教室
ESL(年少～小学6年)
ピアノ教室 空手教室 合唱部
書道教室 ダブルダッチ(チーム)
幼児おんがく教室(年少～年長)
いろはにほんご教室

→E-mail: IROHA.nyikuei@gmail.com

日曜プログラム



育英サンデースクール

E-mail: SunNJ.nyikuei@gmail.com

幼稚部(年中、年長)

・(幼小同室にて)ベビーシッター・自習室
小学部(小学1年～小学6年)
・(幼小同室にて)ベビーシッター・自習室

日曜プログラム

日曜ピアノ教室
日曜バイオリン教室
日曜野球教室(春・秋)

自習室+(ぱらわ)

ようひは日本語であそぼう(2歳半～年長児)
→E-mail: Nichinichi.Asobo.nyikuei@gmail.com

いろはにほんご教室

→E-mail: IROHA.nyikuei@gmail.com

日曜ダブルダッチ

日曜 寺子屋アカデミー
(書道、そろばん、理科実験、アート、料理教室)

→E-mail: Terakoya.nyikuei@gmail.com

育英サマーキャンプ

育英サタデースクールニュージャージー校

E-mail: SatNJ.nyikuei@gmail.com

幼稚部(年中、年長)

・ベビーシッター
小学部(小学1年～小学6年)
・野球部、サッカー部、卓球部、室内球技部、アート部、
ダンス部、書道部、自習室

中学部(中学1年～中学3年)

・中学部活動、書道部、自習室
高等部(高校1・2年)
・国語・数学コース
・社会科(現代社会・日本史)※選択制として導入

育英サマーキャンプ

E-mail: SummerCamp.nyikuei@gmail.com

サマーキャンプ(宿泊) サマーデイキャンプ
サマー野球教室 サマーいろはにほんご教室

育英スキーキャンプ

E-mail: Ski.nyikuei@gmail.com

日帰りスキーカラーレッスン(12月～2月)
宿泊スキーキャンプ(12月、2月)

Manhattan キャンパス (マンハッタン)

310 W, 103rd Street, New York, NY 10025
Phone: (212)935-8535 Fax: (212)813-0122

育英サタデースクール マンハッタン校

幼稚部(年中、年長)

- ベビーシッター
- 小学部(小学1年～小学6年)
 - 漢字検定、総合体育教室、音楽部、毛筆、硬筆、自習室
- 中学部(中学1年～中学3年)
 - 漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、アドバンス(国語・数学)、自習室
- 高等部(高校1年・高校2年)
 - 漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、自習室



Location: Friends Seminary
Location2: Grace Church School
Phone: (201)947-4832
※土曜日のみ: (201)637-3927
(201)449-4501
Fax: (201)944-3680
E-mail: SATM.nyikuei@gmail.com

その他のイベント
季節プログラム
春→親子スプリングスクール
夏→親子サマー、幼児サマー、小学生サマー
冬→幼児ウィンタースクール
日ようびは日本語であそぼう(2歳半～年長児)
子育て支援広場「ぱっぽ」(未就園のお子さま)

幼小一貫のNY育英学園NJキャンパス全日制部門幼稚部小学部では、2019年度の募集を11月1日に発表し、11月30日から応募受付を開始致しました。応募受付開始に際しては、NJキャンパスでの学園見学ツアーやサタデーサンデーアフター部門とともに学園説明会を実施し、多くの方にご参加頂きました。NY育英学園では、バイリンガル教育を推進していく上で、本学園独自の教育目標を掲げ、特色のある授業保育を開催しております。日本の文部科学省が定める幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領に準拠した教育を日本語で行なう一方、国際的視野を広めながら地域との交流を深めるつつ英語教育を重視するプログラムが構築されています。

小学校には2011年に週10時間のオリジナルカリキュラム「NY育英クロスマソッド」を導入し、また、幼稚部にも2017年度から毎日の英語の時間を設けることで早期の英語教育を充実させ、一層の英語力の定着、更には応用を目指す内容となっております。このような本学園独自のプログラムは確実な効果をあげてきており、日本から来られたばかりのお子様の現地校へのソフトランディングの場として、また日本帰国前の日本の学校へのソフトランディングの場として十分に役割を果たし、お子様の豊かな成長の足掛かりになっています。また、英語以外の専科も充実しており、小学校では音楽・図工・書写、幼稚部ではミュージック・運動・アート・数遊び・折り紙・わらべ歌遊びなど、お子様の能力を多岐な分野にわたって伸ばしていくプログラムとなっております。さらに、様々な年間行事に加え、校外学習、宿泊学習も

追加募集

~NY育英学園NJキャンパス全日制 幼児部・小学部の教育~

行っており、当地しかできない体験を通して、様々なことを経験していただくことが可能となっております。

NJ全日照オプショナルサービスとして、バスサービスおよび給食サービス(毎日)も提供しております。保護者の方のニーズにお応えしております。バスサービスはNJの運行エリア内はドアツードアで、マンハッタンはポイント制で西側と東側の2便運行しております。幼稚部の便およびマンハッタンの便にはスタッフが添乗員として同乗いたしますので、安心してご利用いただくことができます。給食は、日系のレストランと提携し、1回からでもオンラインでご注文いただくことが可能となっております。更に放課後には、保育・授業後のお預かりのプログラムに加え、アフタークラブプログラムにご参加いただくことが可能となっております。運動系のクラブから文科系、芸術系のクラブなど、曜日によって様々なクラブにご参加いただけます。

このような充実したプログラムを通して、NY育英学園は、日本人としてのアイデンティティーを体得しつつ、米国の社会との交流から他の国の社会や理解する柔軟な心を持った子ども達を育成して参ります。幼稚園、小学校という人生で大切な時期をNY育英学園で過ごし、これからは国際社会で羽ばたく大人になっていく子ども達を見守って必要な時には手助けして参ります。ご見学、体験入園、お問い合わせ等はお気軽にお問い合わせください。皆様とお会いできることを楽しみにお待ちしております。

育英ポートワシントン校 (ロングアイランド)

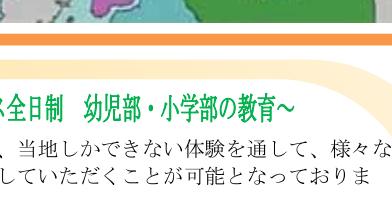
育英サタデースクール ポートワシントン校

幼稚部(年中、年長)

- ベビーシッター
- 小学部(小学1年～小学6年)
 - 漢字検定、総合体育教室、音楽部、毛筆、硬筆、自習室
- 中学部(中学1年～中学3年)
 - 漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、アドバンス(国語・数学)、自習室
- 高等部(高校1年・高校2年)
 - 漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、自習室

Ikuei Saturday School of Port Washington
Location: Carrie Palmer Weber Middle School
Port Washington Office
After School
8 Maple Street #6,
Port Washington, NY 11050
Phone: (516)767-3139
土曜日のみ: (516)455-3871
(201)362-5678
Fax: (516)767-2753
E-mail (サタデー):
SatPW.nyikuei@gmail.com
E-mail (アフター):
AfterPW.nyikuei@gmail.com

平日アフタースクール
特別国語教室、英検対策講座、宿題教室
いろはにほんご教室(土曜日国語クラス、作文教室)



第37回育英サマー ニュージャージーのサマープログラム

《デイキャンプ》

《サマー野球教室》

《レイクグリーリー宿泊キャンプ》

《サマーいろはにほんご教室》

サマー幼児部・小学部デイキャンプ
サマー野球教室
サマーいろはにほんご教室

対象:

幼児: 2013年4月2日～2016年4月1日生まれ

小学生: 2007年4月2日～2013年4月1日生まれ

期間:

①前期(3週間・全員) 6/24(月)-7/12(金)

②後期(2週間・全員) 7/15(月)-7/26(金)

*スクールバス利用可(料金別)

*前期後期両方の参加、弟妹の参加には割引制度あり。



サマー宿泊キャンプ (レイクグリーリーキャンプ)

対象: 小学1年生～中学3年生

2003年10月1日～2013年4月1日生まれ

期間: 15日間 6/29(土)-7/13(土)

今年で37回目を迎えるニューヨーク育英学園のサマープログラムは、幼児部・小学部のデイキャンプ、そのデイキャンプの放課後を利用した野球教室や語学教室、そして小学生から中学生までが参加できる2週間の宿泊キャンプがあり、盛りだくさんのプログラムをご用意しています。

私たちはこのサマープログラムを通して、子ども達一人ひとりが日本語を使いながら楽しく充実した夏を体験できるようにと、それぞれのプログラムにおいて工夫を凝らしております。前期後期続けて参加をしても、また毎年参加をしても飽きることのない変化に富む内容がたくさん詰まっています。また、安全面にも留意しており、お子様が安心して参加できます。

サマー幼児部・小学部デイキャンプ

幼児部では、日本語での幼稚園の環境をたくさん用意しています。日本語の歌や踊り、手遊びに紙芝居、工作など盛りだくさんの活動があります。また、夏ならではの水遊びや泥んこ遊びに加え、年長児は安全なプールで本格的な水泳指導も行ないます。サマー中は年少児から年長児までの縦割り保育ですので年長児はクラスのお兄さん、お姉さんになった気分で大活躍してくれます。

小学部では、サマー期間中を通してクラス対抗ゲームを行ないます。小学生1年生から6年生までの縦割りクラスですので、上級生のリーダーシップのもと、チーム一丸となって様々な活動に取り組みます。また、工作、理科実験、日本語、英語の選択制の言葉の学習の時間、日本語の歌、遠足、そしてほぼ毎日行なわれる水泳指導など、充実のプログラムが用意されています。キャンプ中には1泊2日の宿泊キャンプ体験もあります。

サマー野球教室

投げる、打つ、捕る、走るといった基本動作から、実戦練習・試合までを行う野球教室です。午後4時から5時半までの1時間半、のびのびと野球ができます。初心者も経験者も大歓迎です。

時間: 午後4時～午後5時半

サマーいろはにほんご教室

夏の間に日本語力を伸ばしたい、漢字を学習してみたいなどそれぞれのニーズと日本語の能力に合わせて学ぶことができます。

時間: 午後4時～午後5時半

- ①Japanese クラス (ISL/JFL) 第2外国語として日本語を学習
- ②日本語クラス (Nihongo) 日本語の読み書きを学習
- ③国語クラス (Kokugo) 国語としての日本語学習



サマー宿泊キャンプ

世界各国から子ども達が集まるレイクグリーリーキャンプで、男女それぞれのキャビンに教員とともに2週間一緒に寝泊まりをし、様々なアクティビティやすいか割りや飯盒炊飯などを大自然とともに満喫できるキャンプです。

お問い合わせ先

場所: 8 West Bayview Avenue,
Englewood Cliffs, NJ 07632

電話: (201)947-4832

E-mail: SummerCamp.nyikuei@gmail.com

ポートワシントン校のサマープログラム

育英アフタースクールポートワシントン校では、『集中中国語夏期講習』を開催します。長い夏休みの間に「日本語を強化したい」

「漢字がもっと得意になりたい」「作文が上手に書けるようになりたい」「1学期にサタデースクールで頑張ったことをよく復習して2学期に臨みたい」、そんな子ども達のためのサマープログラムです。約2ヶ月の夏休みの間、ご都合のいい期間を選んで受講いただけます。講師は育英アフタースクール、サタデースクール PW 校の教員が担当します。少人数制クラスなので、一人ひとりの特性を伸ばし、分からぬところに納得がいくまで取り組めます。



《夏期講習オリジナル教材の内容例》

漢字の指導: 漢字の読み方、書き方、漢字の使い方など漢字を覚えるだけでなく、実際の使い方も指導し学ぶ視点も伝えます。

- ①漢字の成り立ちから学ぶ
- ②部首から学ぶ
- ③同意語や対義語
- ④エピソードから学ぶ

作文の指導: 文章の書き方をわかりやすく丁寧に指導します。

- ①目・耳・鼻・口・肌で五感で感じたものを書く
- ②書き出しの工夫等

音読の指導: 漢字の意味や言葉の意味を理解して音読ができるように指導します。

文法の指導: ことばのきまりを学習します。主語、述語、修飾語などをわかりやすく説明します。

集中中国語夏期講習

対象: 小学生(定員6名)

※中学生・高校生の方もご相談ください。

期間: 6月24日(月)～8月16日(金)

※7月4日は祝日のためお休みとなります。

時間: 小学1・2年生 9:30～11:00

小学3・4年生 11:10～12:40

小学5・6年生 13:30～15:00

※1週間(月曜日～金曜日)で1コース

ですが、お一人何コースでも選べます。

※90分(45分×2コマ)

その他

○日程等は調整させて頂く場合があります。

○クラス時間などについてはご相談ください。

お問い合わせ先

場所: 8 Maple Street #6
Port Washington, NY 11050

電話: (516)767-3139

E-mail: AfterPW.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／育英 PW 校事務: 長山 千恵子

りんごラーニングセンターのサマープログラム

きりんのへや こども園のサマースクール

対象：2歳半～年長児（30名程度）

期間：6/24(月)～8/2(金)（土日は休み）

時間：1日保育：午前9:00～午後4:00

半日保育：午前9:00～午後1:00

★早朝保育(午前7時半から)、延長保育(午後6時まで)あり

★フルタイム割引（4週間以上選択される方）あり

★スクールバス・給食サービス利用可

きりんのへやこども園のサマープログラムは、一日単位で選択できる組み合わせ自由なサマースクールです。

主な活動としては、りんごラーニングセンターのアウトドアプレイエリアでの水遊び、ニューヨーク育英学園 NJ キャンパスでの外遊び、泥遊び、造形遊び、体操クラス、クッキングなどを日本語で行います。紙芝居や絵本の読み聞かせ、日本の歌や、わらべうた、手遊びなども取り入れています。また、フィールドトリップにも行きます。

経験豊富な保育者が、お子様の年齢や個性に合わせ、細やかに対応いたします。

子ども達が、日本語の環境で夏の楽しい思い出が作れるよう、お手伝いします。



お問い合わせ／りんごラーニングセンターディレクター：半場 紗子

フレンズアカデミーのサマープログラム

新しい園舎となって4回目を迎える、フレンズアカデミーサマースクール。2018年度の参加者は延べ100名を超えて、夏の間、園舎中に子どもたちの元気な声が響き渡りました。週に2度の水泳教室（年長・小学生以上）、隔週で行われるフィールドトリップ、クラフト制作、夏祭りの縁日など魅力的なプログラムを多数用意してお待ちしています。どうぞ奮ってご参加ください。

スタッフ一同心よりお待ちしております。

サマースクール概要

対象：親子クラス・幼児部・小学生

親子クラス：1歳～3歳未満（未就園児）

幼児部：3～6歳（幼児）

小学部：7歳～12歳（小学生）

※上記のいずれも参加時点での年齢となります。

※年少・年中クラスは昼の休憩時間があります。

期間：7月1日(月)～8月30日(金)

時間：親子クラス 10:00～11:30

幼児部：9:30～15:30

小学部：9:30～15:30

※早朝・延長預かりサービスあり（有料）

語学部門 英語サマーデイキャンプ

対象：小学生 *3rd & 4th Session は中学生も可

期間：

① 1st Session (3週間・全日) 6/24(月)～7/12(金)

② 2nd Session (2週間・全日) 7/15(月)～7/26(金)

③ 3rd Session (2週間・半日) 7/29(月)～8/9(金)

④ 4th Session (1～3週間・2時間) 8/12(月)～8/29(木)

*スクールバス利用可（料金別）1,2nd Session のみ

*2セッション以上の参加、弟妹の参加、育英サマーキャンプ参加者には割引制度あり。

申込開始：2019年2月4日(月)より

今年で9年目を迎えるりんごラーニングセンターの英語サマーデイキャンプ。このキャンプでは、毎日様々なアクティビティを英語で行いながら、子どもたちが英語を身近に、そして楽しく学習できるよう工夫されています。

秋から現地校に入る日本からアメリカに来て間もない子どもたちが英語に慣れるためのウォーミングアップキャンプとして、また毎日英語のシャワーを浴びて自分の英語力を伸ばしたい子どもたちにとって、最適のキャンプです。

必要時には日本語が通じるスタッフがおりますので、安心して参加できます。その他事



務手続きやお子様のキャンプでの様子なども日本語でお伝えしますので、保護者の方にとても安心です。

また、4th Session では、日本語クラスとして『りんごいろはにほんごデイキャンプ』も行います。現地校の長い夏休みを利用して、日本語の学習を集中して学ぶ、とても良い機会となっています。または、育英サタデーやサンデーの2学期が始まる前の、1学期の復習として利用されている子ども達もいます。少人数で日本語をたっぷりと学びましょう。

皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

お問い合わせ先

場所：2460 Lemoine Ave, Fort Lee, NJ 07024

電話：(201)947-4707

E-mail：ringo.nyikuei@gmail.com

ここが魅力です

- ① たくさんの人々と関わり、実体験を通す中で、子どもたちはひとまわりもふたまわりも逞しく成長します。
- ② 一日中日本語のシャワーを浴び、自ら学び、会話を楽しむようになります。
- ③ 縦割りのクラス編成により、異年齢の子どもたちとたくさん関わり、触れ合います。そうした中で、他者への労りや思いやりの心を育みます。
- ④ 週に2回行われる水泳教室では、専門の指導を受けることにより飛躍的に上達します。初心者もご安心ください。必ず泳げるようになります。（年長・小学生以上）
- ⑤ フレンズアカデミーの隣には自然豊かなリバーサイドパークがあります。緑に囲まれた最高の環境の中で、のびのびと1日を過ごします。
- ⑥ 日本やアメリカで指導経験豊富な先生たちが子どもたちの指導にあたります。指導にあたる先生たちは全員 NY 市が定めるトレーニングを受講済みです。安心してお子様を預けて頂けます。



サマースクール名物「夏祭り」

サマースクール中、毎年恒例の夏祭りが実施されます。夏の風物詩である涼しげな浴衣や甚平を着用し、祭りに花を添えます。また縁日ではスーパーボールすくいや輪投げ、缶つみ等を楽しみ、最後に親子で盆踊りをします。

フィールドトリップ訪問先

2018年度例

★Turtle Back Zoo(NJ)

★Central Park Zoo(NY)

★Billy Beez (NJ)

★Guliver's Gate (NY)



お問い合わせ先

場所：310 West 103rd Street

New York, NY 10025

電話：(212)935-8535

E-mail：Friends.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／フレンズアカデミーディレクター：河野 茂

Japanese Children's Society 機関誌 Friendship Winter / 2019 9

NY育英学園主催コンクール・展示会

2018
年度

受賞者発表

クラブ書写コンクール

二〇一八年度十一月に、
ニューヨーク育英学園各部門の書写クラブ参加者を対象に行われた
コンクールの結果が発表されました。受賞者の皆様は以下の通りです。
おめでとうございます。

学園長
賞

(毛筆の部)

優秀
賞

(毛筆の部)

特選
賞

(毛筆の部)

けタ
雲焼

鈴野 武琉 さん
(小五 サタデーNJ校)

の
あ
き

三浦 伊織 さん
(小三 サタデーPW校)

本

三原 明季 さん
(小二 水曜書道教室)

バセット・マーティン さん
(中一 サタデーNJ校)

石原 果歩 さん
(小三 水曜書道教室)

グリベル・クロエ さん
(小一フレンズアカデミー校)

徳家 彩希 さん
(中一 サタデーM校)

堀 花音 さん
(小四 水曜書道教室)

安部 由真 さん
(小二 サタデーNJ校)

学園長
賞

(硬筆の部)

四年
ほり 花音

徳家 彩希 さん
(中一 サタデーM校)

四年
ほり 花音

堀 花音 さん
(小四 水曜書道教室)

四年
ほり 安楽 兼英

安楽 兼英 さん
(小二 サタデーM校)

優
秀
賞

(硬筆の部)

濱畑 まりゑ さん
(小五 サタデーNJ校)

北川 昌輝 さん
(小四 サタデーM校)

野澤 みお さん
(小三 寺子屋)

特
選
賞

(硬筆の部)

野田 香月 さん
(小六 サタデーPW校)

石原 果歩 さん
(小三 水曜書道教室)

三原 明季 さん
(小二 水曜書道教室)

現がの園の段
ユーハー
い在れ発でで基一般い達
ます。以とのを
下考場字級設
・育英級の・
・りんご書道教室
・N英サタデー
・M校スクラ
・P・W校
・水曜書道教室
・日曜寺子屋
・育英級の・
・りんご書道教室
・N英サタデー
・M校スクラ
・P・W校
て表書すす。を「な昇筆・
のえがぶ・定昇級の・
教室で子段し、学昇人
教室で筆達が実施され
ます。今後に今とまで、日本
の意欲で以聚上學も昇ニの

二〇一八年度も沢山の応募作品の中から、
厳選なる審査の結果、上記の方々が受賞され
ました。子ども達は一年間のクラブ活動を通
して、高い技術を身につけ、出品された作品
は、心のこもった力作揃いの素晴らしいもの
ばかりでした。週に一回という少ないクラブ
活動の中ですが、各校それぞれの方法で、真
剣に文字と向き合い、集中して取り組んでい
ます。必然、審査をしている方も力が入りま
した。このコンクールを機に、これからも書
くことの楽しさを知り、日本文化の普及に繋
がる事を期待しています。



お問い合わせ/NJキャンパス全日制書写専科：阪上 真澄

保育教育トピックス #3

2018年夏、ドイツの出版社から連絡があり、ウェスタンシガル大学院（教育工学部）で書き上げた研究論文が本として出版されることになりました。（タイトル：

「INVESTIGATION OF THE DEVELOPMENT OF EDUCATIONAL ICT COURSES ON PRE-SERVICE TEACHERS' EDUCATION CURRICULA」）教育現場でテクノロジーを実践活用できる教師の育成に役立ちたいと思い、研究を始めました。そのためには、教師を目指す大学生を育成する教育大学にて、「教育×テクノロジー」の理論と実践を学べるカリキュラムを更に開発する必要があると考えました。そのためこの研究調査の目的は、教育学部で学ぶ学生が、大学の授業でICTに関するどのような知識や能力を発達させているかを明らかにすることでした。また、教育学部で学ぶ学生が、ICTに関するどのような授業を求めているのかを、統計結果から判断することでした。

なぜアメリカの大学院で「教育工学」を学ぼうとしたかというと、新しい教育法の研究や実践が活発なアメリカ国内でそれらを学び、日本の教育に取り入れるヒントにしたいと思ったからです。アメリカでは、時代の流れに合った教育を学習者達に提供することが行われていますが、なぜそれが可能なのか。大学院時代では、それを知るためにも、アメリカでの現役教師と交流をしたり、EdTech（教育×テクノロジー）に関する学会に参加したり、様々なICTの導入法、活用法を学んだりしました。

現代を生きる子ども達が21世紀を生き抜いていくためには、高次の問題解決能力、独創力、創造性、協働力、分析力、思考力、そして多様性がしっかりと培われるための新しい教育方法が必要だ、と言われています。そもそもなぜ、昔の人に比べて、それらの力が要求されているのか。理由の一つによく言われているのは、今を生きる子ども達が大人になつた時、ほとんどの仕事はAI化や機械化され、自分たちで新しい仕事を「創り上げ

小学校の頃の夢は小学校の先生。給食が大好きで、大人になっても食べたいなと思っていた。中学高校と進むと本格的に音楽の道を考えるようになった。夜10時を過ぎても、エレクトーンを大音量で練習していた記憶がある。何回かピンポンとなっていたが、いつも新聞屋さんか町内の回観板だと思っていた。ある時、とうとう父が、「ずっとお隣から苦情が来ているから、ヘッドフォンをつけてくれ。」と言ってきた。ドアの隙間から玄関を覗くと、母が頭を下げて謝っていた。それを見てから遅い時間は、ピアノの練習はしないでヘッドフォンをつけてエレクトーンの練習をした。母は、苦情が来ていても、一言も私に言わなかつたのだ。一度も練習をやめろとも。思い出すたびに涙が出る。

それから、東京で音楽学校を卒業し、音楽教室に就職した。午前中は未就園児のリトミックのクラスを2クラス、午後は幼稚園児、小学低学年のグループレッスン、その後、夜8時過ぎまで、ピアノやエレクトーンの個人

る」ことが大切になって来るということです。同時にコミュニケーションが確実に必要な「対人間」の仕事は生き残る可能性が高いということです。そこで必要になってくることは、「一人ひとりが現状を分析し問題を見つけ、自分にしか出来ないことを創り出したり、目的にあった対策を考え出したりしながら、協働し合って社会を支えていく」ということなのです。幼少期からこれらを培うことを重視して、以前から教育改革を行なっている国が多い中、未だ、大学受験を重視した教育が中心に行なわれており、遅れをとっている国一つが日本です。

「教師から学習者へ一方方向に教える」教育ではなく、「学習者と学習者、学習者と教師の相互コミュニケーションに重視した」教育が大切と言われています。テクノロジーは、それらの授業づくりに効果的であり、自発性や向上心をも高める「ツール」として重視されています。具体的には、プロジェクト学習、シミュレーション学習、ピア支援型学習（Peer-Assisted Learning）、自己調整学習（Self-Regulated Learning）、反転学習（Flipped Learning¹⁾）、ゲーム学習、などがあります。日本に比べてアメリカの教育現場では進んでそのような学習環境、教育法を導入しやすく発展させていく教育体制が整っています。

しかし実際、教員は学校現場の限られた時間の中で、教育テクノロジーに関して実践、研究を行い、知識と技術を正しく身につけていく時間や機会は十分でなく、自信や能力に欠けているという研究報告もあります。また子ども達の方が、テクノロジーの技術と能力が豊富という例もあります。そのため私は、前述したように、日本の教育大学では、教師のキャリアを積む前の学生達に、EdTechに関する理論と実践を徹底して学べる時間を提供できるよう、カリキュラム開発をすべきだと主張しています。私のこの論文の分析結果は主に教育工学の分野で活躍する専門家や、教育大学でのカリキュラム開発に関わる方々に役立つことを願って書き上げました。

私自身、大学院で研究中に得た情報や知識



や実践力を元に、授業の中で子ども達が「楽しく自ら参加して学び合える授業」になるよう、声掛けをすると共に、日々ICT機器を含むテクノロジーを駆使するよう心がけています。去年、本校の5年生担任をした際、理科の授業にてEdmodo²を導入した「反転授業」を実践し、研究授業を行なわせていただきました。事後アンケートでは、Edmodoのプラットフォームによって家庭でも交流し合い、学び合うことが「楽しかった」と全員が回答し、家庭学習（予習）と学校での学習（復習）を関連させる学習に、前向きに取り掛かる様子が伺えました。一度の実行だけでなく今後も継続的に行ない、個々の学習者のペースで、探究心を持って自発的に参加できる学習環境を提供していく必要があると考えます。

ニューヨーク育英学園本校の小学部の各教室には、電子黒板が設置されており、デジタル教材を始め、様々な視覚的学習コンテンツやiPadが活用しやすい環境となっています。今後も引き続き教員一同でICT機器に関する研修などを積み重ね、よりよい授業作りのアイデアを共有し合いながら、子ども達が未来を生き抜く力を育成する支えになっていきたいと思います。

* 1：生徒は新たな学習内容を、自宅でビデオ授業などを視聴しながら予習を行い、教室では講義は行なわず、従来であれば宿題とされていた課題について、教師が個々の生徒に合った指導を与えたり、生徒が他の生徒と協働したりしながら取り組む形態の授業である。

* 2：学校外、校内にて生徒同士が繋がり、課題を通して協力的に交流を深めることができるプラットフォーム。また、「課題」「アンケート」「クイズ（小游戏）」「アラート（緊急連絡）」機能などもあり、保護者もアクセスして子ども達の学習の様子が見られるようになっている。

記／NJ全日制小学部及び育英サンデーNJ校教諭：小嶋 咲由里

職員ベニリレー

レッスン。多忙な毎日だった。そんな時、友人から連絡が入る。「実は自分はパニック症候群にかかっている」と。2年間赤坂の心療内科に付き添いをした事がきっかけで人のために何かできないかと音楽療法に興味を持つ。インターネットが充実し始め、私は一人の専門家から、メールでのやり取りで貴重なアドバイスをもらう。これが私にとって、ターニングポイントとなった。「あなたの仕事は、とても重要な仕事です。一人でも心の病気でこちら側に来ないようにあなたがする事ができる。」

そんな事、考えたこともなかつた。自分の性格や適性を考えると、音楽療法士になるよりも、子ども達の情緒を育て、一人ひとりが感情を表現できるように、そして自分らしく生きるためのお手伝いをする方が、私には合っている！迷いがなくなつた私は、それから誇りを持って子ども達の指導にあたるようになった。それまではきっと漠然と先生をしていたのかかもしれない。

それから国際結婚を機にNYへやつてきた。少しづつリトミックやピアノ教室を始めた頃、NY育英学園でも勤務するチャンスを得た。こんな近くに頑張っている子ども達がたくさんいる。日本語と英語を学びながら熱中しているものをしっかりと持っている。どれも応援してあげたい。

あつという間の12年。卒業生が学校で、顔を見せてくれるたびに嬉しくなる。わんぱくだったり泣き虫だったり、おしゃべりさんもみんなみんな立派に、そして魅力的な人に成長している。卒業式で読んでくれた答辞、一人ひとりみんな覚えているよ。これは私の宝物。

私は、子ども達が輝けるように、これからも応援していくたい。



記／育英サンデーNJ校及び育英サンデーNJ校教諭：石ヶ原みゆき

2018年度ファンドレイジング一覧

(前号以降にご寄付・ご協力頂いた企業と個人の皆様)

奨学金基金&寄付金

企業の皆様

TOPCON MEDICAL SYSTEMS, INC.
ANDO CHIROPRACTIC, LLC
ORITZ CORPORATION
AMAZON.COM, INC.

学園グッズ&カレンダー

MR. FUKASE, YOSHIYUKI
MR. HIRAKAWA, HIRONORI
MR. NISHINO, ATSUSHI
MS. ISHIBE, NAOKO & MR. SIMONDS, DANIEL L



シリーズ～先輩から一言～ 吉岡 ゆうすけさん

ちょうど10歳になった頃、私は父の仕事の都合でニューヨークに移住しNY育英学園に入りました。もともと生まれはニューヨークでしたが、生まれてすぐに帰国してしまったため実質、初の渡米となった2007年の冬は私の人生における大きな転換点でした。

初の転校、それも海外。

現地校ではないとは言え、それでも初めてスクールバスに乗り込んだ時の気持ちは、これまで感じたことのない不安と期待の入り混じった、不思議なものでした。

マンハッタンからの通学だったため1時間ほどバスに揺られてたどり着いたNY育英学園は、中庭を色とりどりの卒業制作が囲み、想像していたアメリカの無機質な学校とは正反対の場所でした。

バスドライバーさんとハイタッチをし教室へと向かうと、4年生のクラスのみんなが嬉しそうに私に話しかけてくれました。この時私は自分が一人も知り合いのいない異国の地にいることを忘れ、あたかも数日前までいた日本の小学校にいるかのような温かい気持ちになったのを今でもよく覚えています。

こうして幸運の良いスタートを切った私の育英生活ですが、初日にして私は大きくつまずきました。そう、英語のクラスです。相手の言っていることが何一つ理解できないという経験は今まで全くなかったため、激しく動搖しましたが、しかしESLのクラスだったため半年もたてば自然と日常的な会話なら理解できるようになりました。英語と格闘し、昼休みになればバスケットコートで全学年混ざったドッジボールで汗を流し、最後はバスごとに並んで帰宅し…そんな2年間はあっという間に過ぎました。

迎えた卒業式の日、先生方は私達に向けて歌をプレゼントしてくださいました。「おまじない」という少しさみしげなメロディーの中に力強いメッセージが込められた、今でも私の大好きな曲です。正直なところ、寂しくて涙してしまったので冒頭部分しか覚えていないのですが、これ程心に残った卒業式はNY育英学園以外ありません。



あれから11年、大学2年生になった私は慶應義塾大学の理工学部で機械工学を専門に学んでいます。アメリカで培った英語力を活かして…と言うには少し早い段階ですが、日々課題に追われつつも充実した大学生活を過ごしています。この間偶然卒業前に帰国してしまった育英学園の同級生とキャンパスで再会し、何日かあとに二人で思い出を肴に語り合いました。長い間会っておらずお互い大人になりましたが、そこには、NY育英にいた頃と変わらない光景が広がっていたように感じます。

卒業しても帰国しても育英での思い出は私の宝物です。

奨学金基金&寄付金

個人の皆様

MS. ODA, YOSHIE & MR. LAMPE, JORDAN
MS. ISHIBE, NAOKO & MR. SIMONDS, DANIEL L
MS. EGUCHI, KEIKO & MR. EGUCHI, WESTON
MS. HASEGAWA, YOKO
MS. NATSUME, KAORI & MR. NATSUME, GARY
MR. HIRABAYASHI, MASAYOSHI
MS. SHUKLA, SAWAKO
MS. TAKAGI, TAMAKI
MS. YAMADA, MASAKO
MR. BEITLER, KENNETH
MR. NAKAMURA, RYO
MS. SATO, SHINOBU
MS. VIGH, YUKARI & MR. VIGH, ADAM
MR. YUI, TAKAHISA
MR. HOKARI, TOSHIHIDE
MS. LANDAU, HIROMI & MR. LANDAU, RICHARD S.
MR. STAMATAKY, EVANS
MS. TOMBARI, YONA

10/7/2018～1/7/2019

皆様のご支援に
心より感謝を申し上げます

全てのご寄付は米国での
税控除の対象となります。
All contribution is tax deductible.
501(c)(3) organization

本学園ホームページ
JAPANESE SCHOOL.ORG から
PayPal をご利用できます。



お問い合わせ/ファンドレイジング担当
半場 紗子

プロフィール
NJキャンパス全日制小学部卒業後、
NY日本人学校中学部そして慶應義塾ニューヨーク学院を経て、慶應義塾大学理工学部2年生在学中。



NY学園物語
「ガールズパワーはとってもクール!?」
Girls' Power Is Very Cool!?

① アメリカのスノーマンで1段目が頭2段目が胴3段目が足なんだよ!

日本の雪だるまは座禅を組んでるから2段らしいよ!

- ① In America, snowmen are generally built with three parts; from the top, the head, the torso, and the lower body!
② In Japan, Yuki-Daruma are built with two parts, because they are sitting with their legs crossed.



- ③ Oh, come on!? Why do they all have manly names like "man" and "Daruma"? It's a women's era from now on. It's because girls have more power!



- ⑤ Let's make a snow-woman. We can put leaves as hair and make a big skirt for her.
⑥ What are you talking about? We do have snow-woman in Japan, "Yuki-onna."



- ⑥ (sound of howling wind)
⑦ That's a scary phantom!
⑧ I see. That's the power of Japanese girls.
⑨ Cool! (I'm cold!) (She's cool!)
- *cf. Daruma is a name of the poplar red Japanese fortune dolls. (See the picture in the word balloon ②.) It was named after a famous male Buddhist monk, Bodhidharma who lived during the 5th or 6th century.

BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)